

# 地域と共に新しい時代を拓く 平成19年度予算

予算総額 3,208 億円

一般会計 1,968 億円

4月からの1年間に区が行う事業とその経費を定めた19年度の予算が決まりました。

今号では新年度予算の内容について紹介します。  
問 財政課 ☎(5662)6148



■共育・協働の力を次の世代につなげ、未来に向けて区政を前進!

## 平成19年度

## 予算編成にあたって

江戸区長 多田正見

少子高齢化が急速に進む中、国は三位一体改革などを実施。都区間でも、事業の分担や税財政制度などについて、新たな協議が始まっています。

本区では、こうした制度改革に対応し、また、厳しい財政状況を乗り切るため、抜本的な行財政改革も進めてきました。

一方、地域力を源泉とした区独自の様々な取り組みは、国や他自治体から高く評価されています。

これからも区を取り巻く

環境は大きく変化し続けます。19年度予算は、「人づくり」や「安全で安心なまちづくり」を柱に、地域と共に新しい時代を拓いていくためのものです。

今後も区民サービスの水準を低下させることなく、行政のスリム化を進め、効率・安定的な区政運営に取り組んでいきます。そして、いかなる状況であっても常に区民第一主義に徹し、「共育」「協働」の基本理念のもと、理想の地域社会を目指します。

## 平成19年度 重点施策

### ■未来を担う人づくり

未来を担う子どもたちのために、子ども医療費助成制度の拡大や、小・中学校の普通教室へのクーラー設置など、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを更に進めていきます。

### ■学びと協働による区民文化づくり

本区の特長である地域力を支える拠点整備に、一層取り組んでいきます。特に、現在建設中の篠崎公益複合施設は、文化の創造と区の魅力を発信する機能を併せ持つ、新たなシンボルとなる施設にしていきます。

### ■いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

高齢化が進む中で、熟年者が介護を必要とせず、地域で活躍できる施策を進めます。また、介護が必要な方や障害のある方が、できるかぎり自立した生活を送れるように環境を整えていきます。

### ■区民参加による環境づくり

地球環境問題の解決には、地域レベルでの取り組みが不可欠です。今後も、えどがわエコセンターを中心に「もったいない運動」を積極的に展開していきます。

### ■活力を創造する産業づくり

大学やコラボ産学官との交流による新たな製品開発や、ITを利用した販路の拡大など、地域社会に活力を生み出す区内産業を様々な角度から支援していきます。

### ■区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり

都市の防災機能を高める上で、最も効果的な土地区画整理事業などを継続しながら、様々な災害対策に取り組んでいきます。また、区の新たな名所となる「新川千本桜構想」に着手します。

### ■区民本位で効率的な区政運営

厳しくなっていく財政状況の中で、高い水準の行政サービスを維持するために、民間活力を更に積極的に導入し、ITの活用などに一層取り組んでいきます。

新年度予算の主な新規・重点事業 → 2・3面  
数字でみる平成19年度予算 → 4面

新規・拡充  
113事業

# 人づくりと安全で魅力あるまちづくり を進める主な新規・重点事業



## 未来を担う人づくり

### 安心な子育てを応援します

▶ **子ども医療費助成事業(拡)** 28億4,738万円  
通院にかかる医療費の自己負担分全額助成の対象を就学前から小学6年生までに拡大します。また、中学生は健康保険の自己負担分3割のうち、1割分を助成します。

▶ **乳児養育手当の拡大(拡)** 7億6,121万円  
乳児(1歳未満)を養育している家庭に対し、これまで所得額により10,000円または13,000円を支給していた乳児養育手当を13,000円に統一し、更に所得制限を緩和して支給世帯を拡大します。

▶ **子ども家庭支援センター事業(拡)** 4,474万円  
虐待防止体制の整備のほか、支援を必要としている家庭に対し、育児支援ヘルパーを派遣します。



▶ **子育てサポートひろば事業のモデル実施(新)** 109万円  
子どもを短時間預かることで、育児ストレスなどの負担を軽減して安定した子育てができるように支援する事業を共育プラザ南篠崎の子育てひろばでモデル実施します。

▶ **区立保育園の管理運営・建設(拡)** 30億9,293万円  
区立保育園の耐震補強工事を進めます。19年度は、2園の補強工事と、1園の建て替えを実施します。

### 21世紀にふさわしい学校教育を推進します

▶ **生活リズムの向上に向けた取り組み(新)** 28万円  
児童・生徒が、適切な生活リズムを身に付けられるよう、各園、各小・中学校に「生活リズム向上プロジェクトチーム」を設置するとともに、生活リズムを高めるための実践事例集を作成します。

▶ **学校施設の整備(拡)** 41億3,860万円  
学習環境を向上させるため、普通教室へのクーラーの全校設置を19年度から3年計画で進めます(19年度は中学校32校に設置)。また、耐震補強工事も引き続き進めます。19年度は、本一色小学校・大杉東小学校・小松川第三中学校の補強工事の実施や20年度以降の工事予定校の設計を行います。

### 学びと協働による区民文化づくり

▶ **松江区民プラザの開設(新)** 3,675万円  
(総予算額12億1,490万円)  
松江二丁目の旧松江図書館跡地にコミュニティ会館と図書館が一体となった松江区民プラザが19年度にオープンします。



▶ **篠崎公益複合施設の整備(新)** 8億9,000万円  
篠崎駅西部の土地区画整理事業「**待望の「松江市民プラザ」**」  
地域内に民間事業者が建設している建物の一部を区が買い取り、20年夏の開設に向けて、本区の歴史・文化・産業などを紹介する企画展示ゾーンや図書館、総合人生大学などで構成される区民施設として整備を進めます。

▶ **図書館サービスの充実(拡)** 13億703万円  
小松川図書館の耐震補強工事と内装や書架の取り替えなどの館内整備を12月～20年3月頃に実施します。また、東部コミュニティ図書館の開館時間を20時まで延長します。

▶ **公共施設予約システムの導入(新)** 4,363万円  
既に導入しているインターネットを利用したスポーツ施設予約システムを発展させ、コミュニティ会館などの区民施設の予約も可能となるシステムを導入します。自宅からインターネットを利用した区民施設の予約が6月から可能となります。

▶ **グリーンパレスの耐震補強と大規模改修(新)** 18億6,343万円  
グリーンパレスの耐震補強工事と外装や内装の整備を12月～20年7月頃に実施します。

▶ **コミュニティ会館などの整備(拡)** 3億7,241万円  
コミュニティ会館にエレベーターの設置を進めます。19年度は北葛西・二之江コミュニティ会館に設置します。

▶ **青少年の海外派遣事業「青少年の翼」(拡)** 3,568万円  
野村・立井国際交流基金を活用して、国際感覚を持った次代を担う人材を育成するため、区内在住の中学・高校生100人を海外へ派遣します。また、派遣先を4コースから5コースに拡大します。



海外での貴重な体験「青少年の翼」

### いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

### みなさんの健康づくりを応援します

▶ **薬の相談委託事業(拡)** 360万円  
薬の相談事業を充実するため、専用電話「おくすりホットライン」と薬剤師会事務所に薬の相談窓口を新設します。また、薬に関する講演会も実施します。

▶ **スポーツ施設への電光掲示板の設置(拡)** 2億3,316万円  
江戸川区球場、陸上競技場、スポーツランドに電光掲示板を設置します。

▶ **スポーツ施設への空調設備の設置(拡)** 569万円  
真夏でも快適にスポーツができるよう、総合体育館の主競技場とスポーツセンターの大小体育室に空調設備の設置を進めます。19年度は設計を行います。



陸上競技場などに要望の多い電光掲示板を設置

### 熟年者や障害のある方々の生活を支援します

▶ **小松川ふれあいセンターの開設(拡)** 5,774万円  
4月に区内4か所目となる熟年ふれあいセンターが小松川二丁目にオープンします。

▶ **安心生活センターの設置(新)** 1,073万円  
社会福祉協議会内に安心生活センターを設置し、判断能力に不安があり、身近に監護する者がいない熟年者や障害者の方々の生活を支援します。



ふれあいセンターでは虚弱な熟年者の介護予防を総合的に支援します

者や障害者が日常の各種手続きや金銭管理などを安心して行えるように相談・支援を実施します。

▶ **(仮)小松川地区障害者施設の建設(新)** 3,550万円  
21年4月の開設に向けて、小松川地区に定員50人の新たな障害者施設を建設します。19年度は設計を行います。

▶ **特別永住者等福祉給付金(新)** 1,144万円  
国民年金制度上、国籍要件により、老齢基礎年金などの資格を得られなかった外国籍の熟年者などに対して給付金を支給します。

### 区民参加による環境づくり

▶ **省エネルギービジョンの策定(新)** 739万円  
京都議定書の目標達成に向けて、家庭や民間企業も含めた区全体の省エネルギー目標を新たに策定します。

▶ **プラスチック分別回収モデル事業(新)** 1億6,689万円  
20年度からの容器包装プラスチックのリサイクルに向けて、モデル事業を開始します。

▶ **粗大ごみ収集のサービスアップ(拡)** 2億7,559万円  
粗大ごみの収集を委託化し、新たに日曜の収集を行います。また、区民が直接持ち込める場所を区内2か所に設け、粗大ごみ収集手数料よりも安い料金で受け入れを行います。

▶ **えどがわエコセンターの運営支援(拡)** 3,976万円  
エコセンターと協働で、もったいない運動を推進するとともに、エコカンパニーえどがわを更に拡大し、企業の省エネ活動などを支援します。また、廃食油をバイオディーゼル燃料として有効活用するシステムを民間企業とともに研究します。

▶ **環境行動計画の推進(拡)** 870万円  
コミュニティ会館など15施設の省エネ診断を行い、エコ改修の実施について検討します。

### 活力を創造する産業づくり

▶ **マーケティングの支援(拡)** 970万円  
区を代表する伝統工芸品や特産品などの販路開拓を行う団体を支援し、区内産業の振興を目指します。

▶ **特産品ショッピングモールの開設(拡)** 192万円  
インターネット上に商店街のような機能を持つ「電子市場」を開設し、区の伝統工芸品・特産品などの紹介や販売をしていきます。

▶ **えどがわコラボ産学交流プラザ(拡)** 86万円  
区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交換・交流促進のため、交流会を開催します。この交流会では、大学が持つ技術や人材・研究設備の紹介、技術相談などを行います。

▶ **産学連携コーディネーター派遣** 210万円  
区内企業とコラボ産学官参加大学との共同研究や新製品開発を促進するため、産学連携コーディネーターを区内企業へ派遣します。

▶ **えどがわ伝統工芸産学公プロジェクトの実施(拡)** 1,053万円  
更に実践的な製品開発に取り組み、販売を促進するためのグッズなどを作成します。



数々のすばらしい作品が誕生

▶ **商店街パワーアップ支援事業** 6,612万円  
商店街の魅力を上昇させるため、商店街が自ら実施する活性化事業やイベントを支援します。

▶ **学校給食に食材を提供(拡)** 100万円  
区内小・中学校の給食に定期的な区の特産野菜の提供を行います。また、19年度は「小松菜学校給食の日」を設け、区内産小松菜を配送し、様々なメニューに利用してもらうことで、区内での消費の拡大を目指します。

### 区民のくらしを かぶよく支えるまちづくり

### 住みやすいまちづくりを進めます

▶ **都市基盤の充実・質の向上(拡)** 94億9,082万円  
土地区画整理事業(3地区・58.6ha)や京成本線連続立体交差事業、JR小岩駅周辺まちづくり、江戸川スーパー堤防化とまちづくり、木造密集市街地の改善、都市計画道路の整備(街路工事・用地買収など)、橋梁の整備(上一色中橋、中平井橋、新川橋の架け替えなど)を今後を着実に進めていきます。

▶ **駅前広場・駐輪場の整備(拡)** 34億8,930万円  
葛西駅西駐輪場と篠崎駅駐輪場が20年4月にそれぞれ完成の予定です。また、新たに平井駅南口地下駐輪場の設計を進めます。

▶ **環七シャトルバスの運行(実証運行による検証)(新)** 1億9,900万円  
南北交通の課題解決に向けて、4月から20年3月までの予定で、環七通りを軸にJR小岩駅・亀有駅から一之江駅・葛西駅を経由して葛西臨海公園駅、東京ディズニーランド®・東京ディズニーシー®を結ぶ便利なシャトルバスを試験運行します。

▶ **地域の魅力を高めるまちづくり(新)** 14億1,030万円  
新川の川辺に桜を植えて区の新たな名所とする「新川千本桜構想」や河川広場の整備を進めます。また、旧江戸川の河川敷(3.7ヘクタール)を水辺のスポーツガーデンとして整備を進めます。

### 安全で災害に強いまちを目指します

▶ **地域防災力の強化(拡)** 1億4,030万円  
わがまちの防災マップづくりを各地区で進めます。また、地域の自主防災組織に対し、レスキューセットの整備助成を行います。更に、災害時に区民の連絡手段を確保するため、避難所となる小・中学校に特設公衆電話(災害時優先電話)を整備します。



区民のみなさんによる防災マップづくり(小岩地区)

▶ **橋梁の耐震性能向上(新)** 12億1,816万円  
震災時の緊急交通網と避難路を確保し、被害を最小限に抑えるために橋梁の耐震補強工事を行います。19年度は鹿本橋、鹿骨新橋、瑞江大橋など、16橋の工事を進めます。

▶ **住宅の耐震化促進(拡)** 1億4,761万円  
耐震コンサルタントの派遣や耐震改修計画等支援、熟年者・障害者耐震改修工事費助成、家具の転倒防止ボランティア支援、分譲マンション耐震診断の助成を行います。



# 数字でみる 平成19年度予算

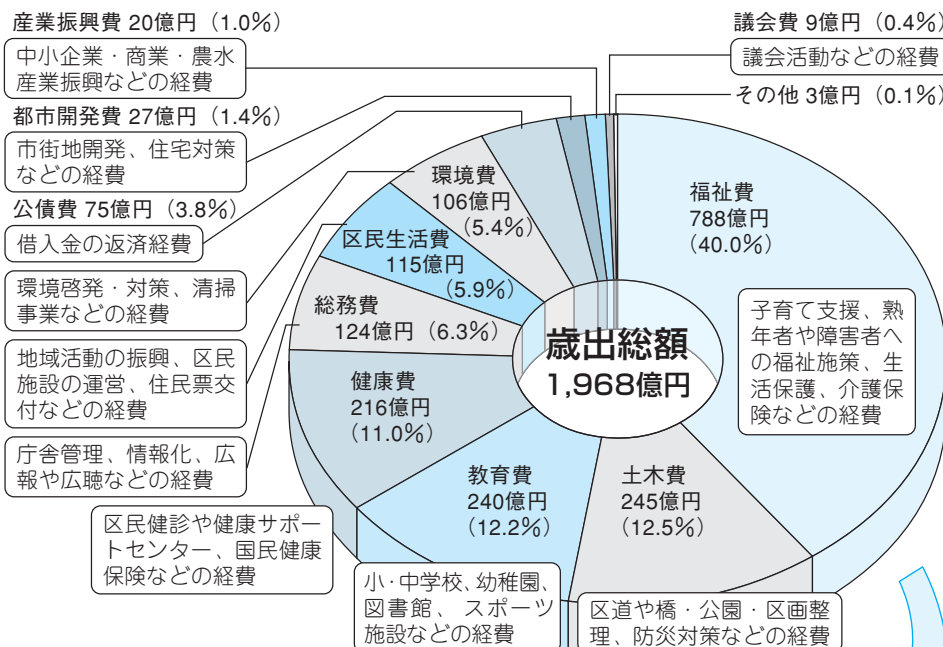
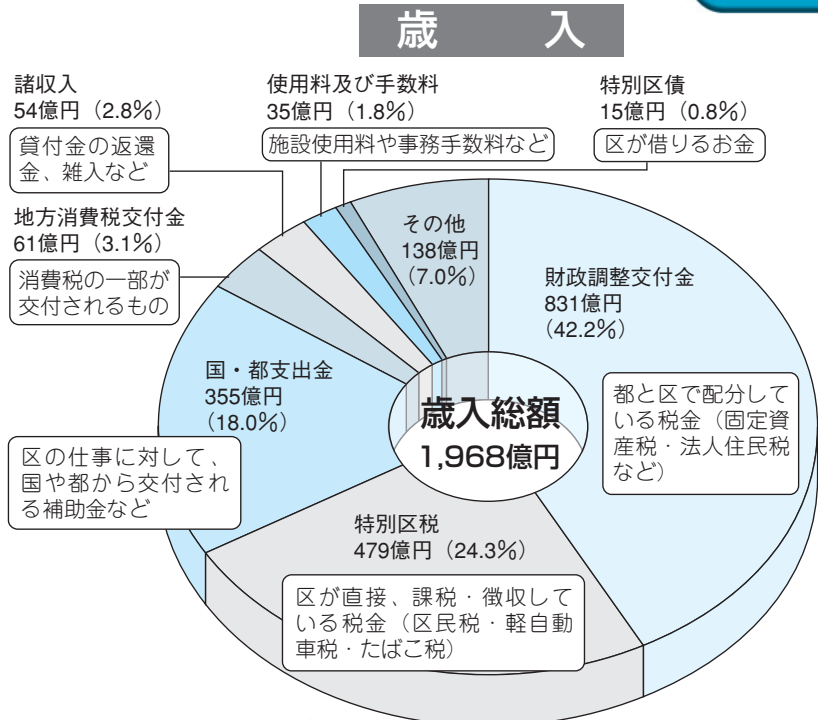
区は、区民のみなさんの税金や国・都からの交付金などを財源として、区民生活に直結する様々な施策を行っています。限られた貴重な財源を区民サービス向上のため有効かつ適切に活用し、安全・安心の区政を進めます。

問 財政課 ☎(5662) 6148

## 会計別予算の規模

区分	19年度	18年度	増減率
一般会計	1,968億1,886万1千円	1,878億8,639万4千円	4.8%
国民健康保険事業特別会計	674億349万6千円	595億6,330万2千円	13.2%
老人保健医療特別会計	331億1,885万7千円	339億5,076万4千円	△2.5%
介護保険事業特別会計	235億1,652万1千円	223億6,638万5千円	5.1%
合計	3,208億5,773万5千円	3,037億6,684万5千円	5.6%

## 一般会計の内訳



※金額は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。構成比は千円単位での比率です。

## 歳出の性質別の内訳

扶助費	人件費	物件費	投資的経費	補助費等	繰出金	公債費	その他
518億円 (26.3%)	414億円 (21.1%)	280億円 (14.2%)	254億円 (12.9%)	183億円 (9.3%)	170億円 (8.7%)	75億円 (3.8%)	74億円 (3.7%)
生活保護費、児童手当、障害者福祉手当などの経費	職員給与、退職金、委員の報酬などの経費	物品購入、仕事の委託などの経費	道路や公園・施設の整備や用地取得などの経費	幼稚園保育料や学校給食費の補助、融資の利子補給などの経費	国民健康保険、介護保険など特別会計を支える経費	借入金の返済金(元金・利子)	



## 平成19年度一般会計予算額を1万円に換算しました

<b>熟年者福祉 障害者福祉などに 2,188円</b> 	<b>子育て支援などに 1,817円</b> 	<b>道路・公園の整備 まちづくり、防災対策などに 1,384円</b> 	<b>学校教育 生涯学習などに 1,220円</b> 	<b>健康施策 国民健康保険事業などに 1,100円</b> 
<b>地域活動の振興 区民施設の運営などに 586円</b> 	<b>環境啓発・対策 清掃事業などに 537円</b> 	<b>区の借入金の返済に 378円</b> 	<b>産業の振興などに 102円</b> 	<b>その他(区政運営・議会活動) 688円</b> 